

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)		-	-
		スーパー（企画担当） コンビニ（経営者）	・新店オープン効果が既存店に波及すると予想する。 ・コンビニの総菜を使用した簡単料理がブームになり、売上や来客数は好調である。特に主婦の来客数が伸びている。
		通信会社（店長）	・9月ごろには話題性のある新商品の発売が予想されることから、市場が活気付くことが期待できる。
		観光名所（職員） ゴルフ場（経営者）	・予約状況が良い。 ・基本的に流れも良くなっているが、主に営業努力によって大きく売上を伸ばしている。
		一般小売店〔菓子〕（企画）	・土産品としては大きな変化は無いとみている。
		百貨店（店舗企画）	・継続して現状を維持できるとみている。しかし、今年は旧盆が後ろにずれるため、7月と8月の売上に凸凹はある。また、台湾、香港にて当社のPRを強化しており、インバウンド客増加も期待している。
		スーパー（販売企画） コンビニ（代表者）	・競合店の新規出店などもあり、競争は激化している。 ・好調な観光に支えられ、堅調に推移する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は梅雨時ということもあり、客足が更に少ない感じがする。市場は、セール前ということもあり買い控えが起こっているように感じられ、状況的には悪循環が続いている。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・特に大きく変わる要因は見当たらない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月先の客室稼働率は、今月同様前年実績を若干下回る見込みである。これから繁忙期シーズンを迎える沖縄だが、予約の入込は前年を上回る勢いは無いのが実情である。
		旅行代理店（マネージャー）	・夏休み企画商品は若干伸び悩んでいるが、それでも前年度並みの需要は見込まれる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・工事受注はおおむね順調であるが、現場代理人や下請業者の不足感があり、受注契約時期及び工事着工の段取りがポイントとなる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・慢性的な人手不足から、中堅、大手は対応に追われている。逆に小さな専門店の居酒屋が安定して入客が取れている。これから夏場になり、求人はリゾートに取られるので、より厳しくなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・職人を確保するため、住宅建設費が高騰しつつある。
		x	商店街（代表者）
企業動向 関連 (沖縄)		-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・7月から公共、民間共に工事が開始する予定である。
		輸送業（代表者）	・生コンは離島のホテル等のリゾート関連の民間工事が出ており、公共工事でも出荷は増勢となっている。アスファルトは現状は低迷しているが、農道舗装やクルーズ船対応の岸壁工事の本格化により、先々は期待できる。
		広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促活動は決して消極的になっているわけではないが、費やす予算が増加する可能性は極めて低いと感じている。
		会計事務所（所長）	・特に業績に対する好材料も悪材料も感じられない。
		x	輸送業（営業） 建設業（経営者）
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		人材派遣会社（総務担当）	・企業からの求人は引き続き堅調に推移するとみているが、最低賃金が上がり、人手不足が顕著な業種は人件費増加で更に厳しい状況になると予測する。
	学校〔大学〕（就職担当）	・選考解禁の時期に入り、多くの企業が選考を行っており一時的な結果待ちの様子である。一方、企業からの求人も同様のペースであり、特段加速した動きなどは見られない。しばらくはそのような状況が続くのではないかと。	

	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・例年求人数が落ちる時期である。
	求人情報誌製作会社 (編集室)	・8月に入ると求人意欲に一服感が表れ、求人件数は更に減少するとみられる。
	学校[専門学校](就職担当)	・6月の求人案内はかなり減ってきたようである。しかし、採用人数に達していない企業はまだまだ動きを止めていない。応募者がいないので苦戦している様子である。
x	-	-